



週刊住宅

木耐協調べ

高額耐震補強が増加

リフォームと同時施工で

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合が26日にまとめた2006年4月から今年6月に耐震診断をした木造住宅約1万5000戸のうち、85・52%が耐震基準を満たしていないことが分かった。06年4月～09年11月の耐震診断結果をまとめた今年1月の前回調査と割合はほぼ同じだった。築年数が浅いと診断結果は良くなる傾向だが、

るとして5～10万円程度改修工事金額が上昇する傾向にあるという。同組合では「これまで費用が200万円を超える耐震改修をあきらめる傾向があった。大型のリフォームが増加してお

1981年以降に建設した新耐震でも耐震性が不足しているケースが少なくない。2000年以前の建築では偏芯規定がなく壁のバランスの悪い建物があったほか、施工に問題があるものもあった。また、設計図書がないために評価できない部分は評価を下げたことも一因だという。耐震改修の平均費用は約150万円。前回調査

の136万円より増加した。一般的に5年古くな

り、同時施工することで高額な耐震改修事例が増えている」と見る。また「中古住宅の流通が活発化している。購入時にリフォームや耐震補強しても一括で住宅ローンが組めるようになったり、今後も

高額改修が増加する可能性がある」と話す。耐震相談110番 9月10日まで開設 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(木耐協) は9月1日から10日、

「耐震相談110番フリーダイヤル」(電話0120・249・761)を設置する。診断・補強工事のコストなど一般消費者からの相談を受け付ける。受付時間は9時から18時。土日も対応する。